

プロジェクト・ワークのための Tips 集
しゅう

1

ディスカッションをスムーズにすることば

自分の主張を押し付けるだけでは良いディスカッションになりません。どうしてそう考えるのか、理由と一緒にあなたの意見を伝えましょう。また、相手の意見を聞いて、理解することも大切です。日本語がわからなかったとき、内容がわからなかったときに、きちんとそれを相手に伝えて、ゆっくり話してもらったり、もう一度話してもらったり、詳しく説明してもらったりしましょう。

相手の意見に賛成かどうかを伝えることも大切です。ただし、反論するときは、話し方に気をつけなければなりません。相手の言ったことを理解したことを伝えてから、自分の意見を言しましょう。

■ 意見を言うときのことば
いけん

「私は、【日本の教育には問題がある】と思います。」

「【日本の教育には問題がある】のではないですか。」

「【日本の教育には問題がある】のではないかと思います。」

■ 理由を言うときのことば
りゆう

「【日本政府は教育にもっとお金を**使うべきだ**】と思います。」

{というのも／なぜかという／なぜなら}、【先生をもっと増やしたほうが**いい**】からです。」

■ 相手の日本語や内容がわからなかったときのことば
あい て ないよう

「すみません、もう少しゆっくり**お願いします。**」

「すみません、ちょっとわからなかったので、もう一度説明して**いただけませんか。**」

「『じここうてい**かん**』？ すみません、何ですか。」

「すみません、『じここうてい**かん**』というのは、どういう**意味**ですか。」

「(つまり) それは、『自分で自分を**すごい**と思う**気持ち**』ということですか。」

■ 賛成するときのことば
さんせい

「そうですね、(私も) そう**おも**います。」

「(私も) ~さんの意見に**賛成**です。」

「私の**かんが**も、~さんの**かんが**と**おな**じです。」

■ 反論するときのことば
はんろん

「そうですね。{ですが／ただ}、私は【子どもが少ないので、政府は教育にたくさんのお金を**使えない**】と思
うのですが、どうでしょうか。」

「そうですね。【教育にもっとお金を**使うべきだ**】という意見も {わかりますが／いいと思いますが}、【子どもが少ないので、政府は教育にたくさんのお金を**使えない**】と思
います。」

「~さんは、【日本人は自分に**自信**がない】とおっしゃいましたが、【実は**謙遜**しているだけな】のではないで
しょうか。」